

Rあ〜る

かわにし

vol.14

編集・発行 / 川西市美化推進部美化推進室
 リサイクル推進課
 〒666-0011・川西市出在家町1番11号
 ☎ / 072(759)4240
 ファクス / 072(757)0904

始めよう! ごみの減量 私から 1人1日100g

環境問題とライフスタイル

自然界の環境は大気、水、土壌、生物などの間を物質が循環し、生態系が均衡を保つことで成り立っています。しかし、人間がその関係から逸脱した過剰な生産、消費活動を続けた結果、地球温暖化などの環境問題が起っています。自然の循環を取り戻すために資源の大量採取や廃棄物の大量廃棄を見直し、資源を有効に活用して豊かな環境の恵みを受取できる社会を築いていく必要があります。

これからは、利便性や快適性を追及する生活から、資源を有効に活用し、物を大切に使う環境にやさしい生活への転換が求められています。私たちの身近な問題としてごみを減らすことは、地球環境にかかわる重要な課題です。市では平成21年度までに1人1日のごみ排出量934g、リサイクル率25%に向けてごみの減量化とリサイクルの推進に取り組んでいます。市民の皆さんのご協力をお願いします。

私たちの意識と行動

平成13年に実施した市民意識調査によると、省資源・リサイクル活動のうち現在実行していることとして、「ごみの分別を確実にする」という回答が92.3%、「新聞・雑誌は古紙回収に出す」が77.1%、「再生紙の利用や紙の無駄使いをしない」が56.5%、「過剰包装を辞退する」が41.5%、「買い物にマイバッグを持参する」が36.7%となっており、ごみの減量・リサイクルの取り組みは市

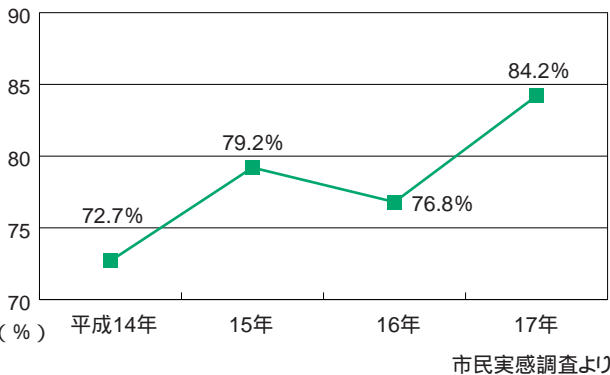
民の皆さんの高い意識と行動に支えられています。また、17年度に実施した市民実感調査では、環境に配慮した行動を心がけている「どちらかといえば環境に配慮した行動を心がけている」という回答が84.2%でした。一方で、環境を大切にすることは理解しているが、なかなか行動することができない」という回答も15.2%ありました。意識を行動に結び付けるために、過剰包装を断るなどできることから始めていきましょう。

問. あなたは日常生活において、環境に配慮した行動を心がけていますか。

環境に配慮した行動を心がけている	91人	26.1%
どちらかといえば環境に配慮した行動を心がけている	203人	58.1%
環境を大切にすることは理解しているが、なかなか行動することができない	53人	15.2%
あまり興味がない	2人	0.6%

(回答349人)

環境に配慮した行動を心がけている市民の割合(+)



肩から下げられるので、とても便利です



市内のスーパーにご協力いただき、市生活学校連合会と市がキャンペーンを実施。ごみ減量を訴えながら市オリジナル買い物袋を配りました。「レジ袋を断って、マイバッグに買った商品を直接入れましょう」

早速、使っています



マイバッグ持参・ノーレジ袋
 キャンペーン実施中



年度別のごみ量は...

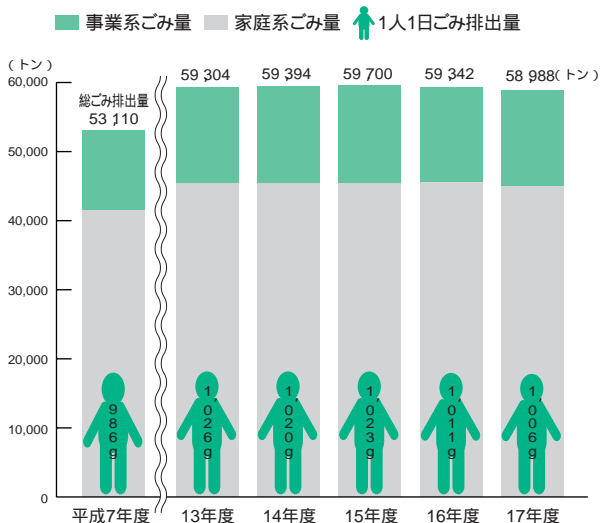


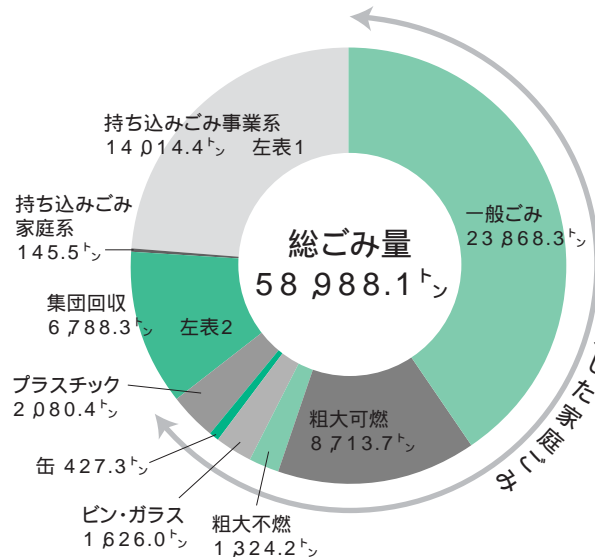
表1 事業系ごみ内訳 (ト)

一般ごみ	11,446.9
粗大可燃	2,225.4
粗大不燃	8.8
ビン・ガラス類	81.5
缶類	79.9
プラスチック類	171.9
計	14,014.4

表2 集団回収内訳 (ト)

新聞	4,790.8
雑誌	1,103.2
段ボール	623.9
古布	215.2
アルミ缶	51.7
牛乳パック	3.3
その他	0.2
計	6,788.3

総ごみ排出量 (平成17年度)



リサイクル量 (平成17年度)

